

## 平成28年度 子宮がん検診の実施結果概要

※平成16年4月末より、がん検診の指針が「30歳以上逐年検診」から「20歳以上隔年検診」へ改正。

※平成20年度より、対象者数の把握方法を推計対象者による算出に変更。

推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数)

平成27年国勢調査結果より

※受診率＝(当該年度受診者+前年度受診者－2年連続受診者)÷対象者数 により算出。

※受診者数及び受診率については、20～69歳を対象とした数値である。下段に20歳以上を対象とした数値を参考値として記載。また、それ以外は20歳以上を対象とした数値である。

※榑葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村は、平成27年国勢調査による市町村人口が公表されていないため7町村については、以下の数値を用いている。

- ① 「総人口(4月1日現在)」は、平成27年9月1日現在の推計人口(県統計課作成)による
- ② 「対象者数」は、平成22国勢調査の人口を用いて算出したものである

推計対象者数	平成27年度 (a)	平成28年度 (b)	前年度からの伸び状況 (a-b)
20～69歳	264,339	230,016	▲34,323
20歳以上	485,690	458,219	▲27,471

### 1 受診者及び受診率(20～69歳)

(表1)部位別

	年齢区分	平成27年度 (a)		平成28年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
子宮頸部	20～69歳	57,840	40.4	55,702	43.9	▲ 2,138	3.5
	20歳以上	69,036	25.9	66,941	26.3	▲ 2,095	0.4
子宮体部	20～69歳	112	0.1	79	0.1	▲ 33	0.0
	20歳以上	129	0.1	88	0.0	▲ 41	▲ 0.1

・子宮頸部がん検診の受診者数は、前年度より2,138名減少したが、受診率が3.1ポイント増加した。

(表2)集団・施設検診別(20～69歳、子宮頸部がん検診のみ)

	年齢区分	平成27年度 (a)		平成28年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
集団検診	20～69歳	15,250	9.3	15,945	11.0	695	1.7
	20歳以上	19,933	6.6	20,802	7.2	869	0.6
施設検診	20～69歳	42,590	31.1	39,757	32.4	▲ 2,833	1.3
	20歳以上	49,103	19.3	46,139	18.9	▲ 2,964	▲ 0.4

・集団検診は前年比で受診者数が695名増加し、施設検診は2,833名減少した。

### 2 要精検率、精検受診率(20歳以上)

(表3)部位別

	平成27年度 (a)		平成28年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	率 (%)	要精検率 (%)	率 (%)	要精検率 (%)	率 (%)
子宮頸部	1.0	88.5	1.1	93.2	0.1	4.7
子宮体部	2.3	100.0	2.3	100.0	0.0	0.0

・子宮頸部検診では要精検率は横ばいで、精検受診率は4.7ポイント増加している。

(表4)集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	平成27年度 (a)		平成28年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	率 (%)	要精検率 (%)	率 (%)	要精検率 (%)	率 (%)
集団検診	0.6	94.8	0.6	92.5	0.0	▲ 2.3
施設検診	1.1	87.2	1.4	93.4	0.3	6.2

・精検受診率は、集団検診で2.3ポイント減少し、施設検診では6.2ポイント増加している。

### 3 がん発見数・がん発見率(20歳以上)

(表5)部位別

	平成27年度 (a)		平成28年度 (b)		前年度からの伸び状 況(b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
子宮頸部	15	0.04	17	0.03	2	▲ 0.01
子宮体部	0	0.00	1	1.14	1	1.14

・がん発見率は子宮頸部で減少し、子宮体部で増加している。

(表6)集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	平成27年度 (a)		平成28年度 (b)		前年度からの伸び状 況(b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
集団検診	3	0.03	3	0.01	0	▲ 0.02
施設検診	12	0.04	14	0.03	2	▲ 0.01

・がん発見率は、集団検診・施設検診ともに減少している。

### 4 陽性反応的中度

(表7)集団・施設検診別(子宮頸部がん検診のみ)

	子宮頸部
20~69歳	1.79
20歳以上	2.25

### 5 その他参考(20歳代の受診状況・結果)

・平成16年4月末の指針改正により、20歳以上が検診対象となったため、20歳代の受診状況を以下にまとめる。

(表8)20歳代(20歳~29歳)、子宮頸部がん検診のみ

	平成23年 度 (参考)	平成24年 度 (参考)	平成25年 度 (参考)	平成26年 度 (参考)	平成27年 度 (a)	平成28年 度 (b)	前年度から の 伸び状況 (a-b)
受診者数(人)	6,142	6,280	5,310	6,412	4,489	3,611	▲878
受診率(%)	34.5	33.7	21.70	34.4	31.3	28.9	▲2.4
要精検率(%)	2.1	2.4	2.3	2.6	3.0	3.3	0.3
精検受診率(%)	90.8	88.2	91.9	86.8	85.1	90.0	4.9
がん発見数(人)	8	4.0	2	0	0	1	1
がん発見率(%)	0.13	0.06	0.04	0.00	0.00	0.03	0.03

・要精検率、精検受診率は増加傾向で、受診者数、受診率は減少傾向である。